

2017年暮らしの瓦版 10月号

「いいご縁」アフター管理サポートサービスについてインタビューを受けました

アフター点検を強化しようと考えたきっかけ
2007年に住宅瑕疵担保履行法が成立・公布され、今後は口約束だけの点検実施では不十分になる、確実に点検を実施できる仕組みが必要だと考えるようになつたことがきっかけです。

もともと、2000年にISOを導入し、アフター点検の年数・マニュアルを整備していました。また、住宅瑕疵担保責任保険は義務化の1年前には導入するなど、アフターメンテナンスの体制を整えることについて、常に取り組んできました。ただ、「マニュアルがあるから」「保険があるから」というだけではダメだという考えがありました。
というのも、当時のアフター点検は「半年・1年・2年」を、現場監督が担当していました。一方、瑕疵

弊社では、新築の建物をお引渡ししてから、2年間は自社の現場担当者が定期点検を行いますが、3年目以降は、3年目、5年目、7年目、5年目、十年目の4回の定期点検を外部に依託しています。

点検のプロに第3者の目で各室はもちろんの事、床下から、天井裏、外壁部全般をチェックしてもらいますので、お客様にとつても非常に安心で、信頼していただけます。

その点検を依託しているのが、㈱アイジーコンサルタントさんです。躍進を続ける優良企業さんです。その㈱アイジーコンサルタントさんが、毎月発行されている「いいご縁」のインタビューを受けました。（掲載内容をそのまま転載します）



顧客満足・顧客感動が目的です。当社の理念として染みついている考え方に「お客様には、満足だけではなく感動してもらわねばならない」ということがあります。透明性の高い点検を行いつつ、お客様に感動して頂けるサービスにする手法として、アフター点検に私自身が立ち会うことをお客様に内緒にしているので、「社長が来てくれた！」と大変驚き、喜んでくださいます。点検スタッフ時に、顔合わせのような形でコミュニケーションが確保が、「任せきりにしないこと」は顧客満足・顧客感動が目的です。当社の理念として染みついている考え方に「お客様には、満足だけではなく感動してもらわねばならない」ということがあります。透明性の高い点検を行いつつ、お客様に感動して頂けるサービスにする手法として、アフター点検に私自身が立ち会うことをお客様に内緒にしているので、「社長が来てくれた！」と大変驚き、喜んでくださいます。点検スタッフ時に、顔合わせのような形でコミュニケーション

半年・1年・2年目の点検は社内点検です。総務でアポイントを管理し、現場監督が点検を実施します。3年目以降の点検で、アイジーさんの点検を活用しています。

当社での活用ポイントは、「第三者に任せること」と「任せきりにしないこと」の2点です。

アフター管理サポートサービスを知ったきっかけ
そんな折に「アフター管理サポートサービス」を知りました。
きっかけはアイジーさんがサービスの紹介に来られたことでしたよね、確かに、アイジーさんがアフター管理サポートサービスの提供を始めた年（2009年）だったと思います。新しく始まった、定期点検がシステム化されたサービスということを説明を受けました。

色々と話を聞いていく中で、サービスの内容だけでなく、アイジーさんの考え方と共に感しました。タイミングよく訪問されたことも、何かの「ご縁」だと思うほどでした。他社のサービスもいくつありましたから、企業姿勢や考え方と共に感したことが、導入を決めた最大の理由です。

担保の期間は「十年」ですから、この期間をどう対応していくかが課題でした。また、おかげさまで新築のご依頼が増えていましたし、メンテナンス専属の社員もいない状況でした。

こうした取り組みは、中小企業だからこそできることなのかもしれません。経営者としてはダメなのかもせん。社風は、社長の影響力というより社風として根付いていると感じます。

それますが、当社の強みとして捉えています。そのためか、当社はいわゆる「営業」がいなくとも、現場監督が仕事を取ってきます。リフトームのリピート率・紹介率も他社さんより高いと言われていますが、こうしたことの背景にあるのは、社風だと思います。「利他の精神」「お客様を感動させる」という考え方が、社風として根付いていると感じます。

当社はありがたいことに、ボランティア精神の旺盛な社員が多いです。これは、今までの経営者が培ってきた文化であり社員たちがつくり上げた社風だと思います。それを活かすために、是正対応について「無償のサービス」と「対価を得る仕事」の線引きを敢えて曖昧にし、社員の判断で、お客様に喜んでもらえるように行動することを優先していきます。社員を会社のルールでガチガチに縛つてしまふと、社員のベクトルが「会社」に向いてしまい、面倒になつて「じゃあ、やらない」となつてしまいかねません。

社長が自らアフター点検に取り組む理由とは？

私が自らアフター点検を先導して行なうことで、社員が自分の業務（新築現場管理・リフォーム工事）に集中できるようになりました。また、是正対応が必要になつても、気が楽なようですね。当社はお客様に恵まれ、大きなトラブルもなく、工事もスムーズに進みます。それでも、是正対応は気が重いものです。かと言つて、無理に社員にやらせてても、質が下がつてしまひます。

ニケーションを取りますが、点検自体は手順通りアイジーさんが主導で進めています。アイジーさんの点検員さんとも普段からコミュニケーションが取れていますので、安心して任せています。

「第三者に任せること」と「任せきりにしないこと」は、相反するように見えますが、この 2 つを両立させることで、効果が 2 倍・3 倍になる感じで、います。

今後の課題と展望

今後は十年目以降のお客様の囲い込みに着手していきたいですね。新築から十年目までのお客様は、子育て期間と重なる方が多いためか、メンテナンスの費用など準備ができていない方もいらっしゃいます。

ンスに費用が掛かることを
伝えることもできます。

実際、4回分の点検費用は当社の
負担で行います。正直、仕事に直結
はしていませんが、回り回つて良い
方向に向かっている感触はあります。
また、点検を確実に行うことと、
トラブルの芽を早めに摘めていくと
思います。トラブルが大きくなつて
持ち出す費用を考えれば、初期費用
として有効だと捉えられます。

こうした効果は、アフター管理サ
ポートサービスを導入した当初は期
待していませんでした。結果として、
良い効果が出ていることを実感して
います。

お客様には、お引渡し時に「十年間に4回の点検があります。費用は掛かるんですが、それは当社からのプレゼントです」と伝えていました。「サービス」と言つてしまふと恩着せがましくなつてしまふようを感じますので、「プレゼント」としています。

こうしたことから、当てつけがましく「俺がやつてるから、お前もやれ」ということを言うわけではなく、社員が自ら気付き考え、取り組んで欲しいと考えています。逆に言うと、アフター点検の取り組みを社員に引き継いでいくことが今後の課題ですね。

も、根本的には「社員」によります。
「社風は、社長だけでなく社員がつ
くるもの」という名言がありますが、
本当にそうだと思います。会社を良
くするには、みんなで取り組まねば
なりません。社長がいくら良いアイ
デアを持つて号令をかけても、社員
が知恵を絞つて改善しなければ実現
しません。仕組みを作つても、実行
するのは本人。本人のやる気次第で

発行

新築・建替え・リフォーム・増改築のことなら

柄井建設工業株式会社

岐阜市河渡3丁目138番地

 0 1 2 0 - 5 2 0 - 5 2 3

ISO9001認証取得

おかげさまで
56周年

ふれあいタイム

第218号

タカラ 岐阜
パートナーショップ主催

9月30日（土）10:00～16:00

会場：タカラスタンダード岐阜ショールーム
岐阜市東鶴3-51 TEL058-274-3880

「リフォームなんでも相談会」開催

「リフォームなんでも相談会」開催

「リフォームなんでも相談会」開催

ご予約：0120-520-523 担当 兼子

「ライフプランナーサービス」実施しています

住宅ローンの借入・返済、住宅計画をきっかけに家計の見直し等

「新築・リノベーション」の紹介
会社及び社長のフェイスブック投稿記事を掲載しています。

渡邊 浩さんが写真2枚を追加しました。
17時頃前・裏

ISO9000 2015 年度版への移行審査が終わり、クロージングミーティングです。2000 年に取得して 17 回目の審査ですが今回も非常に有効でした。



岐阜の新築・リノベーションなら53年の確かな実績 栃井建設さんが写真2枚を追加しました。
9月3日 15:11

SE構法「重量木骨の家」ならではの醍醐味、おうちの中でこんなことができるんです。



どんな小さなことでもお気軽にご相談下さい。
当社は、お客様満足度地域No.1を目指しています。



職場の教養

一般社団法人倫理研究所「職場の教養」より抜粋

9/28 ☆ お客様に寄り添う

～プラスアルファのサービスを目指しましょう～

Mさん一家がレストランへ食事に行った時の出来事です。Mさんの息子は、アレルギー体質のため、メニューにある料理を注文することが出来ません。

妻の手作り弁当を持参し、持ち込みを受け入れてもらえるか、店長に事情を伝えると、即座に了承してくれたのでした。

店長は「お母様、ご苦労の多いことでしょう。作られたお弁当をお預かりできますか。ディナー用の器に乗せて用意させていただきます」と言いました。店長の対応に、家族全員が感動しながら食事をしたのでした。

また、支払いの際には、店長が「いつでもお越しください。お待ちしております」と、笑顔で見送りをしてくれたのです。すぐに次回の食事の予定も計画せずにはいられないMさん一家でした。

同様の対応をどの店でもすることは難しいでしょう。とはいえ、お客様の求めるものを的確に捉える気配りがあったのは事実でしょう。

今後の良い関係につながる対応を心掛けたいものです。

岐阜市河渡 土地販売情報

残り1区画
商談中!!

～申し込み・お問い合わせ～

0120-520-523

担当 渡邊 勲

道路		
清	10.407m (約19.000坪)	岐阜建設工業社員駐車場
宅地分譲地 モデルハウス 建設中	10.406m (約19.000坪)	
清	10.406m (約19.000坪)	
清	10.408m (約59.82坪) 19.000m	10.408m (約59.82坪) 19.000m
宅地分譲地 B区画 商談中	9.000m	10.409m (約59.82坪) 19.000m
C B A	10.408m (約59.82坪) 19.000m	10.409m (約59.82坪) 19.000m
道路		

栃井建設工業株ホームページ
<http://www.totii.co.jp>

